

経 済 民 生 常 任 委 員 会 記 録

令和4年2月1日(火)午前9時58分～午前10時25分(9階 908 会議室)

○出席委員(7名)

委員 長	阿部 亨
委 員	沢井 和宏
委 員	丹治 誠
委 員	尾形 武
委 員	粕谷 悦功
委 員	半沢 正典
委 員	渡辺 敏彦

○欠席委員(1名)

副委員長	小熊 省三
------	-------

○市長等部局出席者(なし)

○議 題

「郊外型大型商業施設開業に伴う本市への影響と対策に関する調査」

- (1) 所管事務調査について
- (2) その他

午前9時58分 開 議

(阿部 亨委員長) ただいまから経済民生常任委員会を開会いたします。

小熊省三委員より、本日1日間欠席の連絡がありましたので、ご報告をいたします。

議題は、お手元に配付のとおりでございます。

所管事務調査についてを議題といたします。

前回の委員会では、所管事務調査のテーマ等についてご協議をいただき、調査テーマを郊外型大型商業施設の本市への影響と対策に関することにいたしました。

皆様からいただいたご意見を基に所管事務調査案を作成いたしましたので、ご覧いただきたいと思います。

まず、1の調査事項についてでございます。郊外型大型商業施設開業に伴う本市への影響と対策に関する調査としております。先日の委員会では、郊外型大型商業施設設置に伴うとしておりましたが、本市が設置するものではないということから、文言を開業というものに訂正しております。

次に、2、調査の目的についてですが、令和8年に近隣自治体に郊外型大型商業施設が開業予定で

あり、本市経済等への影響が懸念されるということで、このことから想定される影響と対策について調査を進めるということにしております。

次に、3でございます。調査の方法については、当局説明、また参考人招致、行政視察等の方法により行うとしております。

最後に、4、調査の期間についてです。令和4年2月から調査終了までの期間としております。

以上が正副委員長案でございますが、ご意見がございましたらお願いをいたします。

【「異議なし」と呼ぶ者あり】

(阿部 亨委員長) それでは、こちらの案に基づきまして調査を進めさせていただきます。

早速調査のほうに入ってまいりたいと思いますが、正副委員長といたしましては、まず初めに調査テーマの近隣自治体で開業予定の大型商業施設の本市への影響や対策を考える上で、施設の概要等を把握することが必要であるというふうに思いまして、大型商業施設を運営する企業の関係者を参考人として招致をし、施設の概要等を確認したいと考えております。

最初にこの参考人招致をして、施設の概要等をまず確認してから、そこからスタートするというようにしたいと思っております。当局説明などのお話もありましたが、当局のほうで把握している状況というのがちょっと少ないということなのです。その辺も踏まえまして、まず施設の概要等の確認をすることで参考人招致を最初にしたいというふうに考えました。

(半沢正典委員) まずはどういう状況か把握するというのがスタートだとは思いますが、その設置者であるイオンに来てもらうということは、その概要等の等の部分に地域、福島市に対する対応は何をするのというような話まで普通は及んでしまうのか、最終的にはそれも確認しないとあれでしょうから、こちらが少し勉強してからもう一回、結論の前にそういうことを聞くために再度招致するのかなんて、ちょっと先を読むと、概要だけ聞いて、さようならというわけには普通はいかなくなるのではないかなと思うのですけれども、どうなのですか。等の中にいろんなことが、自由に質問する形になるのだろうかけれども。

(粕谷悦功委員) イオンを呼ぶでしょう。イオンを呼ぶということは、イオンは近隣市町村には迷惑かけないということを考慮した内容で今の面積とか店舗決めとか、やり方というのを設定したのだよな、イオンとしては。周りに迷惑かけるのは駄目だということなのだから、県からも地域、周辺自治体の状況もよく聞いて計画立ててくださいよと。面積も少し小さくはしたのだな。だから、そういう面で福島市に問題が何か出ないのかいと聞いたら、いや、問題出ませんからと言うのではないのかい、イオン。問題出るようなこと言うわけないでしょう。だから、どんなものかな。

(渡辺敏彦委員) 問題とかではなくて、この人ら商売なのだろう。影響がないとかではなくて、あの人らのもうけの話。だから、影響あるのが当たり前であって、影響出るぐらい本気になってやるでしょう。だから、その状況を確認すればいいのでしょうか。でもってこっちでどうするかということなのではないでしょうか。影響を出さないようにやるかといったってどうしようもないでしょう、商売なんて。もうけ

る気でやっているのだから。

(粕谷悦功委員) 消費者がどうなるかの動きだけの話だから。

(半沢正典委員) 自由経済ですから。

(尾形 武委員) 関係者を呼ばって、準備具合を聞くというのはいいことだと思います。ただ、これはまだ動いていくと思うのだよね。今回聞いても、その後どうなるか。流動的な部分はあるのでないのかなと思うのだけれども、それはどうなのかな。

(半沢正典委員) 青写真は決まっている。

(阿部 亨委員長) そうですね。一応青写真的なものというのは、ある程度は。

(尾形 武委員) だから、時々呼ばって聞いたほうがいい。

(阿部 亨委員長) たたき台と言ってはあれですけども、最初の取っかかり的な部分の、あと概要のその青写真とかができている部分があるので、まずそれを聞いてみて、あと当局でも本当に把握している部分というのは少ないということなのです。

(半沢正典委員) 当局が把握していないということは情報が少ないということでしょう。

(阿部 亨委員長) そうですね。

(半沢正典委員) そしたら、ここで、当局にも言わない情報を明かすか、普通。当局に言わないことを明かさないでしょう、ここでは。ここは公開の場なのだ。

(書記) 相手方のほうでどの程度の情報を提供するか、これは確かに微妙なところはあるかと思えます。といいますのは、まず伊達市に対して設置許可と県に対する許可、そちらに対するいろいろなやり取りがありますから、それを設置者ではない福島市の議会にどの程度まで情報が提供されるかという部分は当然あるかなと思いますが、まずはこの施設の全体的な概要であるとか、あとは商圈として、当然福島市エリアも入った部分を見て、エリアを設定して、いろいろ考えている部分があるかと思えますので、そういった部分の調査を取りかかりとして押さえていただくという形は一つあるのかなというような正副委員長の案というふうに認識しておりますが。

(粕谷悦功委員) 説明を聞いて、はいと言って終わるほかないのではない、これ。

(半沢正典委員) そうなりますよね。

(粕谷悦功委員) 福島の商圈も考えてもらわなくては困るなんて言ったってよ。

(半沢正典委員) そうそう、そうそう。

(粕谷悦功委員) だから、福島に影響が出るわけだからな。

(阿部 亨委員長) 一番のお客様がこの福島市になるかもしれないですね。

(半沢正典委員) そのとおり。

(粕谷悦功委員) 一番のお客様が福島市だったら困るでしょう。

(阿部 亨委員長) いや、でも多分そのぐらいのあれだと思います。むしろ伊達市というよりも、商圈、距離的なものとか、地域性、近さとかというのは。人口的な部分もありますし。

(半沢正典委員) 決して否定するものではないけれども、聞くのであれば、こちらもある程度専門的な知見を多少は持ち得た中で聞かないと、今粕谷委員がおっしゃったように、ただ聞くだけになってしまうぞと。多分そうだと思います。その前に、やはりマーケティングとか、実際もうイオンは進出して、全国でいろんなことを、社会貢献も含めて、また地域経済の影響を含めて、もう既にいろんなことが既成事実としてあるわけだから、ここが初めてではないわけなので、そちらのほうを、例えばマーケティングの専門家とか、ほかに視察に行つて実地で見てくるとか、そういう知見をちょっと積み重ねさせて聞いたほうが、より質問なんか精度の高い質問もできると思うし、そんなチャンスは、何回も呼べばいいといえればそれまでだけれども、そんなにチャンスは何回もあるわけではないから、もうちょっと、取っ始めではなくて、もうちょっと我々の知見と精度を少し高めてから聞いたほうが私にとってはいいのかなというふうな気はします。決して否定するものではないけれども。

(粕谷悦功委員) 何か学者で大型店舗進出による経済波及効果とか……地域に与える影響とか、そういうことを何かやっている人いないの。その辺の話ができる人。

(半沢正典委員) 福大は経済学部あるのだから、マーケティング論はあるでしょう。

(粕谷悦功委員) 誰かいらないのかい、そういうのは。

(阿部 亨委員長) 大学の先生、大学教授。

(粕谷悦功委員) そういうことやっている人。

(阿部 亨委員長) 福島大学経済経営学類教授。

(粕谷悦功委員) そういう人には、福島の影響なんか聞けるからな。福島に影響を及ぼすのか、そういうのが出ると。

(尾形 武委員) 第三者から聞いてね。

(半沢正典委員) 例えば東邦銀行だって福島経済研究所がありますよね。あの辺りは、まさしくそれを分析しないと。市内経済を分析するのが仕事なのだろうから、いわきの例だってもうデータとして蓄積しているはずでしょう、多分。

(阿部 亨委員長) とうほう地域総合研究所というところですね。

(半沢正典委員) だから、そちらのほうの主任研究員とか、肩書ある人をちょっと呼んで聞く方法とか、大学の先生の一般論を聞いて、特に地域経済も分析しているのだから、それに併せて、福島市どうなるのかという想定なんかは、あの人たちがまさしく専門で分析しているのではないの。それで、これから伸びる会社とか伸びない会社に対して融資とか経営指導をするのが仕事なのでしょう。そういうのを想定して。

(阿部 亨委員長) 今、皆さんの意見をいろいろ伺いました。参考人招致に関して、もちろん先にイオンを招致して、企業の関係者を参考人招致としてするのは別に問題はないけれども、その前に、ただいま、お話が出ました。例えば大学の教授、あとは今出た、専門的にやっている、とうほう地域総合研究所というのがあるのですけれども、そういうところを先に参考人招致をして、そちらのほうか

ら専門的な部分、また影響とか、いろいろあります。その辺を聞いてから、まずはそこに聞いてからどうだというような意見だったわけですが、そのほうがいいですか。私もそのほうがいいなどというふうに確かに思ったのですけれども……

(半沢正典委員) 流されないで。委員長がせっかく考えてきたのだから。

(阿部 亨委員長) その概要を聞くというのは最初の取っかかりとしては確かにいいのですけれども、それを聞いたからといって、確かに概要をお聞きして、こうですよ、こんな青写真ですよ、このような規模ですよ、このような商圈を考えていますと聞いたって、ああ、そうですか、はいと、確かにそれで終わってしまうのかなというふうに確かに私も思ったので。そして、何回もその都度、呼ぶ。最初にその概要を聞きました。あと、先ほど言った専門的な先生のお話等々も聞いて、またイオンの方を呼ぶなんていうわけにも、呼べないということはないのでしょうか。

(書記) 切り口を変えれば複数回呼べるかと思いますが、やはり民間の方ですので、招致を複数回数は……

(阿部 亨委員長) そうそうはね。

(粕谷悦功委員) 来ないと言えればそれで済むのだからな。

(阿部 亨委員長) そうですね。

(半沢正典委員) だから、概要ではなくて、イオンも呼ぶ場合は概要に例えばほかのことも含めた内容を聞けるという状況にしておかないとうまくないのではないの。

(阿部 亨委員長) そうですね。

(粕谷悦功委員) そのとおりですね。

(阿部 亨委員長) 概要はもちろんですけれども、それも含めて聞くということですね。

(粕谷悦功委員) 概要はこういうふうになりますよというのだけでも、それに含めた、あと違うこともちゃんと聞くとか。

(阿部 亨委員長) そうすると、前回のテーマを決めるときに参考人招致の何人か候補といますか、そういうのがあったので、ではまず初めに大学教授もしくは専門的なとうほう地域総合研究所等の方をお呼びして、想定される本市への影響とか、あとは他地域の分析している部分、先進先の部分などをまずは聞くというような形でいいですか。そして、それから企業のほうに聞くというような形で。では、まず最初に福島大学経済経営学類教授、こちらは想定される本市の影響についてなんていうのは聞けるような形ではあるみたいなのです。あと、一般財団法人とうほう地域総合研究所、これは福島県内の地域の社会、経済一般及び産業動向に関する調査研究とかをやっています。人の流れの分析とか、福島市から他自治体への人の流れ、逆に伊達市から福島市、そのような流れとか、イオンモールの開業により人の流れがどういふふうに変化するかの予測とかですか、あとは影響を受ける、これは例えば中心市街地なのか、それとも市全体としての動向なのか。では福島大学の先生またはとうほう地域総合研究所、こちらの参考人招致をまず行ってということによろしいですか。

(粕谷悦功委員) いいでしょう。だって参考人招致としか書いていないのだから、参考人招致の誰を招致して、順番に、こういうふうにやって招致していくということを、それをいきなりイオンと言ってしまったから、参考人招致だから、そういうふうに別に、福大なのか、東邦銀行なのか、そういうのを聞いて、あと次にこういう参考人を呼んで、こういうふうにしてというステップであれば別に。そう決めればいいのではない。

(書記) 方向性でございますので、参考人招致はそういう方向で今後進めていきます。また、相手がありますので、相手に打診した結果をまた後日の委員会で報告する段取りで。

(阿部 亨委員長) それでは、参考人招致は行うということで、方向性としてはまず大学教授もしくは研究所等のほうに、これは相手方もあることですから、そちらのほうをまず伺って、聞くと。そして、イオンのほうの企業のほうはその後に参考人招致で聞くと。そのような形にしたいと思えますけれども、よろしいでしょうか。

(渡辺敏彦委員) うれしいことではあるのだけれども、イオンの面積は少なくするとかとは決まったのだけ。

(粕谷悦功委員) ちょっとな。

(渡辺敏彦委員) その中で、どういう店舗が入るかとか何かというのはイオンでは分かるのけれども、福大の先生とか東邦銀行の人らって分かるのかな。

(粕谷悦功委員) それは分からないでしょう。

(渡辺敏彦委員) 分からないだろうな。

(半沢正典委員) 直前になるまで。

(渡辺敏彦委員) 概要というか、ほかのところも含めた中での影響について聞いて、これから具体的に聞いていく。

(粕谷悦功委員) 大店舗の進出による。

(尾形 武委員) 他市の事例だね。

(阿部 亨委員長) そういうのは分からないと思います。

(渡辺敏彦委員) 分からないよね。ざっくりした面積だけでね。

(阿部 亨委員長) そうです。現在のところは。

(粕谷悦功委員) だから、福島は、あそこにまたイオンができるでしょう。そうすると、矢野目にイオンがあるでしょう。あれを潰すのかというようなことを聞かないといけないと思うから、あなたたちあそこに出たらこっち潰すのではないのかと。全部あっちに行ってもらおうという発想になるでしょう。

(尾形 武委員) 最初は残しますなんて言っていたのだから。

(阿部 亨委員長) 映画館は造りませんか、いろいろ言っているのですけれども。

(尾形 武委員) 今の時点ではやりますなんて言って、分からないね。

(沢井和宏委員) これでいいかとは思うのですけれども、ただ外側というか、イオンに対してのやはり県北圏域としてある程度、だから共存共栄というか、その視点もどこかに少し織り込まないと、結局福島を守るためにこれのがんが言っているのではないかという、そういうことではなくて、そっちは止めることは絶対できないわけなので、来たことによってこっちも経済が活性化する、そういう方策はないのかという視点も必要なのではないかなと思います。

(粕谷悦功委員) あるのか、イオンが。

(沢井和宏委員) そこを専門家にいろいろ聞いて。

(粕谷悦功委員) それは、だから学識経験者はな。

(沢井和宏委員) そういう視点がやっぱりないと、ちょっと、何だと言われそうな気がしたので。

(阿部 亨委員長) それでは、参考人招致に関してはそのように進めたいと思います。

そうすると、次、2番、その他でございます。

委員の皆さんから何かございますでしょうか。

(粕谷悦功委員) 行政視察だけでも、行政視察の予定を入れるのでしょうか。コロナでまた吹っ飛んだりなんかになったらどういうふうにするの、そのまとめは。行けなかったらば。

(書記) まず、今の感染状況なんかを踏まえまして、行政視察が行けるのか行けないのか、その辺の判断はそれぞれでご判断いただくところがあるのですが、仮にその視察が行ける状況にはないとなった場合につきましては、その視察を抜いた形の他の調査手法を基にした委員会のまとめ、委員長報告という可能性もなくはないと思われまます。あとは、その後の感染状況、あるいは委員会の調査の期間、そういったものを見ながら視察につきましても組み込んでいくというのが今の対応かと思いますが、行けなくなれば当然その手法は使えないという事態も考えなければならないと思っています。

(粕谷悦功委員) 今、行けなくなった場合、他の方法も考えてということを行ったけれども、どんな方法あるのだ、例えば。

(書記) 他の方法というのは、今、既存の方法でありますけれども、現地調査ということであくまでも市内だけの現地に対する調査、それから参考人招致、当局説明、これが今、既存の調査手法でございます。それ以外につきましては、まだ議会の中で特にルールが定まっておきませんが、例えばリモートで相手の市に対してZ o o m視察というような形も他市でやっているところがあるようでございますので、そういったことも行えるようにすることをルールづけすることを前提に、そういう手法も今後は考えられるのではないかと。あとは、前回の経済民生の中でも対応した経過があるのですが、桑折に調査予定があったのです。結局これもコロナで行けなくなりまして、書類、文書をやり取りして、それを分析した結果を委員会の中でまとめていただいたということもございます。そのようなものが考えられると思います。

(粕谷悦功委員) これ、例えばZ o o mなんかで会議やる場合、相手だってやっていないとできないのでしょうか。だから、そう簡単にいかないわな。

(阿部 亨委員長) そのような手法ということですか。

(書記) あとは、Z o o mはまだ議会の中で利用方法も定まっておりませんので、それを整理した上での。

(阿部 亨委員長) そのほか何かございますか。

【「なし」と呼ぶ者あり】

(阿部 亨委員長) なければ、以上で経済民生常任委員会を終了いたします。

午前10時25分 散 会

経済民生常任委員長 阿部 亨